

# 次世代の会 2016 年活動報告

2016 年次世代の会幹事長 西原洋知 (東北大)

## 1. 論文出版支援 (2 月～)

20 万円の原資を使い、1 口最大 10 万円までの論文出版にかかる費用を補助するものです。2016 年は、以下の 3 件が採択となりました。

(1) H. Nishihara et al.

"Oxidation-Resistant and Elastic Mesoporous Carbon with Single-Layer Graphene Walls"

Advanced Functional Materials (7 月出版)

※カラー化の費用 (約 15 万円) に対し、10 万円の補助

(2) R. Morita, K. Gotoh et al.

"Combination of solid state NMR and DFT calculation to elucidate the state of sodium in hard carbon electrodes"

Journal of Materials Chemistry A (7 月出版)

※オープンアクセス化の費用 (約 24 万円) に対し、0 円の補助 (助成決定後に岡山大学からの援助が決まったため)

(3) T. Ishii et al.

"Single-Step Synthesis of W<sub>2</sub>C Nanoparticle-Dispersed Carbon Electrocatalysts for Hydrogen Evolution Reactions Utilizing Phosphate Groups on Carbon Edge Sites"

ACS OMEGA (11 月出版)

※投稿費 (約 15 万円) に対し、10 万円の補助

## 2. 常任幹事会 (4 月 14 日、東京にて開催)

常任幹事 (幹事長+副幹事長)、夏季セミナー実行委員、夏季セミナーヘルプデスクが集まり、夏季セミナーに関する詳細な打ち合わせと、次世代の会の一般的事項に関する打ち合わせを実施致しました。

## 3. 年会インターナショナルセッションの講師推薦とお世話 (4 月～)

本年より、次世代の会が主体となり進めました。3 名の招待講演者と韓国からのゲスト 2 名には、それぞれ 3 名ずつのお世話係を設置。手厚く歓迎しました。

## 4. 夏季セミナー (8 月、長野)

本年より次世代の会が主催いたしました。

会期中に次世代の会幹事会を開催し、2017 年の夏季セミナーの概略や 2018 年の夏季セミナー実行委員長を選出をいたしました。

## 5. 韓国炭素材料学会への招待講演者派遣（11月、韓国）

本年より日韓の炭素材料学会の若手交流事業として始まった活動です。お互いの学会より若手研究者数名を招待講演者として、お互いの国内学会に招聘する、というものです。次世代の会より、藤森利彦先生（信州大）、糸井弘行先生（愛知工大）の2名を招待講演者として推薦、韓国炭素材料学会に派遣いたしました。

## 6. 定例会@年会（12月、千葉）

2015年まで開催しておりました若手ランチョン会議と統合しました。

2016年の活動報告を行い、2017年の活動内容の確認、夏季セミナーの内容の確認を行いました。

先鋭の若手研究者による講演会を開催しました。学会外からの招待講演1件と、学会内からの依頼講演1件を実施しました。本年は約110名がご来場され、大盛況でした。

## 7. 年会での International mixer 開催（12月、千葉）

本年からの新企画として、海外からの招待講演者の6名および定例会の外部招待講演者である野々口先生をお招きし、12/7の夜に年会会場にて懇親会を開催いたしました。一般参加者は26名でした。小規模なパーティーならではの、親密な懇親ができました。